

(仮称) えんがる町民センター建設検討協議会管理部会・事業部会委員視察調査【抜粋】

- 1 日時 平成30年2月20日(火) 午後1時～午後3時
- 2 場所 岩見沢市民会館・文化センター「まなみーる」
- 3 参加者 伊藤榮三、村上武志、藤江 昭、本田ちづ子、大西定信、竹之内義文(遠軽商工会議所)、中南秀隆(遠軽町教育委員会)、太田晃正(アドバイザー)、他事務局職員等
- 4 内容 施設見学及び管理運営に係る質疑応答
担当者：NPO 法人はまなすアート&ミュージックアップのプロジェクト 事務局次長 竹内恭平氏

要旨

■施設見学(主な特徴)

- 文化センターが昭和58年に完成した後、市民会館が平成15年に新設された際にエントランスでつなげて複合施設とした中で、小学生から公募した愛称の「まなみーる」(まなび・みるが由来)と総称されている。
- 駐車場が狭く130台程度(冬場は100台程度)しか収容できないが、空知振興局や岩見沢市役所など近隣施設の協力を得ながら運用している。状況をわかっている市民は自家用車で来場しない方が多い。
- リハーサル室は壁面が鏡張りになっており、中央部からスライディングウォールで2分割できる。また、窓を設けているが、近隣からの音漏れなどの苦情はない。
- 舞台搬入庫はトラックが中に納まるほど広く、利用団体等に喜ばれている。
- 舞台倉庫は約80㎡と広く、使い勝手が良い。
- 大ホールは1,183席。最近は満席になることはなかなかない。木材を多用し温かみがある。
- アーティストルームの照明は調光ができる。椅子はデザイン性の高い高価なものを採用したが、メンテナンスも高額となるので、あまりお勧めしない。
- 音楽室は150人収容可能で、運転免許更新の講習会場やミニコンサートなどの利用がある。
- 中ホールは514席。客席と舞台が近く、演劇や規模の大きくないコンサートなどの利用が多い。
- ロビーは広々として天井が高く開放的で、コンサートや絵画展、物販なども十分に行えるスペースがあり、利用団体等に喜ばれている。
- エレベーターはガラス張りで見栄えは良いが、メンテナンスが大変。

■視察調査に係る質問事項の回答

- 2001年にできた、いわみざわ公園野外音楽堂「キタオン」の管理を行う団体として、NPO法人が立ち上がった。当初、プロパーの職員は2名しかおらず、市の社会教育部局から4名出向があったが、年々減っていき5年後には出向の職員はいなくなった。
- 1回目の指定管理者の公募の際、当NPOも入札したが、落札したのは大手の企業だった。その後の5年間は砂川市地域交流センター「ゆう」をモデルに、太田先生からも勉強させてもらいながら、2回目のプロポーザルの際は取ることができ、現在、平成25～29年度の5年間の指定管理を行っているところである。また、平成30～34年度の指定管理も引き続き行うことが内定している。
- 全国的に直営から指定管理に移行する流れが起きており、新設を機にNPOや財団の立ち上げをすることが多く、個人的に全国公立文化施設協会の北海道支部委員でもあることから、声が掛かって講演をする機会などもある。

1 指定管理に関する事項

- (1) 組織体制を構築するため、事務職員や舞台技術職員の確保・育成等でご苦労された点はどのようなことでしょうか。
⇒スタッフ構成は「オール岩見沢」「芸術文化に関するアビリティを持っていること」、この2点をコンセプトに組織づくりをした。岩見沢に住まわせること（在住者を雇用すること）などに苦労した。
- (2) スタッフの雇用形態（正職員〇人、臨時〇人）を教えてください。
⇒総務・営業＝正職員5名、嘱託職員5名、パート5名／舞台＝正職員4名／清掃＝正職員1名、パート8名
- (3) 年間の指定管理料とその内訳を教えてください。
⇒指定管理料9,100万円＋利用料収入3,500万円（内訳別紙）
- (4) 指定管理者の公募に当たり、事前準備や協議に要した期間を教えてください。
⇒プロポーザルの約1年前より準備を開始。事業計画書の作成、プロポーザルの台本作成、スライド作成を経て1か月前からプレゼンのリハーサルを3度ほど行った。

2 自主事業、貸館事業等に関する事項

- (1) 自主事業の実施に当たり、事業内容の検討方法はどのように行われていますか。
⇒現場スタッフが原案を作成し、月1の理事会で協議する。ザックリとした年間スケジュールは年1の総会で諮問。
- (2) 貸館事業において、実際にあったトラブルの事例や、特に注意しておく点はどのようなことでしょうか。
⇒1. 減免団体が申請→実際には別の利用者だったケース／2. 貸しホール本番前日にボイラー設備不調／3. 悪徳業者の利用
- (3) 各種団体との連携により、実際にどのような事業が行われていますか。
⇒公演制作・チケットティング・舞台演出のコンサルティングなど、進んで製作協力という形で関与する。
- (4) 施設の利用促進のため、友の会などを設立されていますか。
⇒ファンクラブ等は設立していないが、ボランティアスタッフ組織はある。（会員120名程度）

3 施設に関する事項

- (1) 施設の稼働状況や年間の維持管理費がわかる資料がありましたら提供していただきたい。
⇒施設の主力11か所の参考値＝51%（別紙参照）
- (2) 施設利用料及び備品使用料の算定方法を教えてください（可能であれば）。
⇒岩見沢市教育委員会が算定しているため、根拠は不明。恐らく築年数・平米数等で近隣相場に合わせている。
- (3) 減免の対象となる団体や減免率を教えてください。
⇒学校・幼稚園のホール本番は最大3日間まで10割減免。詳細は後日メールにて送信します。
- (4) 施設の省エネで工夫されている点はありますか。
⇒エントランスロビーの暖房や床暖房はオフ。新電力への移行など。
- (5) 駐車場の管理はどのように行われていますか。
⇒施設キャパに対して駐車場が少ないため、空知総合振興局や近隣施設の駐車場を借りて対応。
- (6) 施設の構造上、不便な点などがありましたら教えてください。
⇒構造上で不満な点はないが、各設備の老朽化が進んだ場合のコストが心配。（大ホール吊り物、ボイラー等）

①施設外観



②エントランス



③掲示板



④フロアマップ



⑤情報案内モニター



⑥ホワイエ



⑦リハーサル室



⑧リハーサル室



⑨舞台搬入庫



⑩舞台搬入庫



⑪舞台倉庫



⑫舞台倉庫



⑬大ホール(客席から)



⑭大ホール(ステージから)



⑮大ホール(音響反射板)



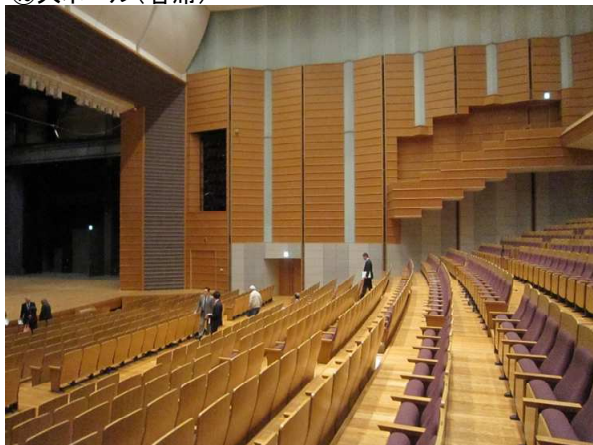
⑯大ホール(説明風景)



⑰大ホール(客席)



⑱大ホール(客席)



⑲アーティストルーム(大部屋)



⑳アーティストルーム(個室)



㉑ロッカー室



㉒掲示板



㉓中ホール(客席から)



㉔中ホール(ステージから)



②⑤中ホール(上手舞台袖)



②⑥中ホール(神棚)



②⑦音楽室



②⑧2階ホワイエ



②⑨2階ホワイエ



③⑩エントランスホールデッキ



③⑪多目的室1



	砂川市地域交流センターゆろ	まなみーる 若狭浜市民会館 文化センター
窓口対応	○ 経理スタッフ(兼)	
アート プロデューサー	○ A(田島)氏	
ボランティア スタッフ	○ 約 50名	
自主事業	○ 年間2回程度	

③⑫多目的室1



施設見学シート（参加者感想）

項目	内容
市民会館施設について	<ul style="list-style-type: none"> 舞台を利用する側の利便性が高く、特に舞台収納スペース・舞台倉庫・舞台搬入庫（11t車2台駐車可能）については、施設選定の大きな判断材料であり、施設使用料の増収に結び付くものと感じた。
指定管理について	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者のスタッフ（正職員5名・嘱託職員5名）は、「オール岩見沢」と「芸術文化に関するアビリティを持っていること」の2点をコンセプトに組織づくりがされており、職員全員が岩見沢市に在住することになっていた。職員全員が施設機能を熟知し、利用者へのサービス向上に務めていた。 舞台技術スタッフ（正職員4名）については、指定管理者と専門業者（札幌市本社で契約後、岩見沢営業所を設置）の再委託契約であり、契約条件として職員全員が岩見沢市に在住することとしていた。 清掃スタッフ（正職員1名・パート8名）についても、指定管理者と市内業者の再委託契約であった。 指定管理者の職員および舞台技術スタッフの勤務状況は、2交替制（8:30～17:00／13:45～22:15）で週休2日制としているとのことであった。 施設利用者等との打合せ対応のため、総務・営業・舞台技術スタッフが一つの事務室で勤務をし、情報共有を図りサービス向上に務めているとのことであった。
指定管理者の自主事業・貸館事業について	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業については、屋内屋外を含め年間20本～30本を実施しており、事業費の財源として市の補助制度とチケット収入等で賄っているとのことであった。 自主事業の計画は、指定管理スタッフで企画し、当日のお手伝い要員としてボランティアスタッフ組織を設けているとのことであった。 主な手伝いの内容は、チケット切り・会場整理係・テント設営撤去（屋外行事の場合） *自主事業の独自性を重視し、特に利用促進のための協議会（友の会）は設けないとのことであった。 外部興行団体（芸能プロダクションやレコード会社等）との関わり方については、指定管理者側が進んで制作協力全般（チケット販売、当日の会場設営や観客誘導）に関与し、適正な使用料収入が得られるよう努めていた。 予約受付は、12か月前より実施しており、減免なしの団体を「A」、免除ありの団体を「B」として、使用料を収める団体を優先し、予約を受け付けている。ただし、市内の団体は13か月前より受付を可能として調整を図っていた。
管理団体の事務室配置について	<ul style="list-style-type: none"> 貸館を受付するブースについては、受付カウンターではなく事務所内に対面の受付スペースを設けていた。貸館業務の内容を考慮し、岩見沢同様の受付スペースを設けることが必要と感じた。
ロッカールーム	<ul style="list-style-type: none"> 施設の中でロッカールームがありました。ロッカールームが必要と感じました。
案内板	<ul style="list-style-type: none"> 施設情報案内板があり、とても便利だと感じました。
リハーサル室	<ul style="list-style-type: none"> リハーサル室の鍵が少ないと感じました。
施設レイアウト、図面に関する事	<ul style="list-style-type: none"> 搬入口が大きいと、演者に喜ばれるとの事。トラックを前日から入れたいという団体もあるらしい。集客よりも搬入口の大きさのほうがポイントとなる団体もあるそうだ。 搬入倉庫が大きく余裕のある収納が出来ている。 リハーサル室には窓を設けてあり、明るさを得ている。アーティストルーム（楽屋）前の廊下は広くとってあり、喜ばれるそうだ。何かと便利のようだ。 控え室の椅子は、オシャレ感よりも実用性を重視すべき。 控え室の近くにはロッカーを設置している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大ホールと中ホールを備えている。芝居には観客とステージの席が近い中ホールが良く使われるとの事。 ・ 神棚を設置している。 ・ ロビーは天井が高い為、ロビーコンサートの際に音が反響して良いとの事。 ・ 物販したい団体もあり、ロビーが広いので助かっている。 ・ 駐車場が100台程度と狭く、大きなコンサートの時には、向かいの空知振興局や近隣企業の協力を借りている。
運営に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフや委託業者は岩見沢に拘っている。再委託先業者も岩見沢市内としている。 ・ 出演者にとってメリットのある補助金を紹介し、申請の手伝いをするところがある。 ・ 支出に占める電気代の割合が高い為、新電力に変更した。約1割の削減が見込めている。 ・ 床暖房は燃料代が高い為、使用していない。 ・ ホールの予約（13カ月前～）は先着順としている。減免団体は優先度を低くしている。 ・ 地元で教育大があるので、パートなどへ採用している。人を集めるのは大変だ。 ・ 地元の特産品販売はしていないが、本来したほうが良いと言っていた。
リハーサル室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入室の際、靴を脱いで利用するのであれば、下駄箱まで素足で歩けるような工夫（簡易スノコの設置等）が必要と感じた。 ・ 隣室で使用している団体の音（音楽）がとても気になった。移動式の壁（スライディングウォール）で部屋を仕切っていたものの改善が必要と感じた。 ・ ガラス窓が多く開放的に感じられる一方、一階であるため外部から中の活動が不特定に見られるのではないかと感じた。
大ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木目調で統一された雰囲気がとても落ち着いており好印象。 ・ 前列2列目から6列目まで、足元が傾斜しているため立ち上がる際に高齢者だと不安定に感じられるのではないかと感じた。 ・ 椅子の座面がしっかりしており、長時間座っていても快適に使用できると感じた。経過年数が経っているものの、日常的なメンテナンスが行き届いており、とても衛生的に感じられた。
中ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが使い勝手の良さそうな印象を受けた。古さは感じられるものの、管理が行き届いており衛生的に感じられる。大ホールと同じく木目調で装飾されているため統一感が良い。
エントランス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面の広さから比較すると情報掲示板が小さく、設置箇所も見づらい位置にあるように思えた。 ・ 入口から入った時の開放感はとても良い。一方で、寒さがとても感じられ休憩している市民の多くが上着を羽織っていた。ガラス窓も開放感が感じられるが、夏場の日差しなどの影響で室温が高くなる傾向にあるものと感じた。
クローク	<ul style="list-style-type: none"> ・ カウンター位置が高すぎると感じた。子どもや女性の目線では圧迫感が感じられるのではないかと感じた。
全 体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日ということもあり、利用者が少ない印象を受けた。 ・ エントランス天井の雨漏り跡や各部屋の壁紙の損傷など、経過年数に伴う老朽化が進んでいる印象を受けた。